

## 第 41 回議会報告会

日 時 令和 5 年 1 月 2 9 日 (日) 午後 1 時 3 0 分～午後 4 時  
場 所 スギ薬局知立福祉アリーナ地下 1 階会議室  
実施内容 テーマ「議員」と「議会」は市民にとってどんな存在か？  
講 師 法政大学法学部 土山 希美枝 教授

### 第 1 部 講演 「議会」と「議員」は市民にとってどのような存在か

- (1) 議会のありかたへの問題提起：「定数（・報酬）」問題
  - ・「定数（・報酬）」問題の本質は「定数（・報酬）」そのものではなく、議会・議員の価値に対する理解の問題、その理解を支える実績と周知の問題
  - ・議会という仕組みを整理すると、その地域の政策をめぐって「議論による意思集約→決断」を行う。合議制の条件とは、「一定時間内に実りのある議論ができる人数」×常任委員会の数である。また、代表性の条件とは、「その地域の多様性ある意見を十分に反映できる人数」
- (2) 「議会」と「議員」は市民にとってどんな存在か？
  - ・定数と報酬を考える「議会はどんな存在か」
  - ・「政策議会」を考えるために、自治体と議会と議員の機能を整理する
  - ⇒自治体は「市民が必要不可欠とする政策・制度を整備する機構。政策・制度をよりよく整備するのが自治体の目標。議会・長はそのために種類の異なる権限を与えられた機構
  - ・議会が「信頼を得る」「負託に応える」ということ
  - ⇒わがまちの政策・制度を議論と決断によって良い状態にすること、わがまちの政策・制度は議会がいるから（行政だけより）良い状態であるという評価を市民から得ることには、成果＝実績と認知を高めるしかない。
- (3) 「政策議会」の成果はなにか：〈政策・制度〉を議会が「制御」すること
  - ・自治体の政策や制度が良い状態であるように信託された権限を使って制御することが議会の役割＝その実績が成果
  - ⇒実績とは、個別事業に関わる様々なことに対して議会が行う制御全てであり、そのために信託された権限とは、その事業が不可欠であるか、政策効果が高いかを監督・提案する、意思決定する決断することである
  - ・なぜ、それが現在十分に機能していないか
  - ⇒現状とその背景にある歴史の積み重ね。行政は間違わない、間違っただけではないという幻想。しかし、あらかじめ正解があるのならば、議論はいらない。行政が正解を持っている前提では、議会はその追認機構に留まる

- (4) 議員定数と議会をめぐる状況：定数削減は市民に「市民福祉の向上」をもたらすか
- ・2000年分権改革が議会に与えたインパクト
- ⇒機関委任事務の全廃、条例制定権や法令解釈権の強化
- ・議員定数は、市町村合併の影響も大きいですが、合併後の減少が続いている
- ⇒自治体の政策や制度（個別事業から計画、執行体制まで）に監査・提案する役割は不要なのか。その役割を果たしていないはその役割はいらぬではない。議員数の適正規模をどのように設定するか
- (5) 議会と議員への「市民の理解と評価」は高められるか
- ・努力と成果をあげ、その可視化をし、市民に周知をする。
- ⇒努力と成果とその可視化とは、見えない努力と成果に価値は払われない。議会として政策や制度のよき制御にどれだけ貢献したのか、成果の蓄積と共有が必要。そのためには、市民と努力（課題提起→意思集約→決断→評価という過程）を共有し可視化する

## 第2部 グループワーク

A～Eまでの5グループにわかれて、2つのテーマについてグループワークを行った。

### テーマ① 知立市議会と市民の関係がより良くなるために議員・議会に言いたいこと

#### 【A グループ】

- ・市民生活を見つめ、地に足をつけた活動を心がけて欲しい
- ・市民との対話の場を持って欲しい（気楽に、市民の意見を聞いて欲しい）
- ・若い人が議員になる仕組みを作って欲しい

#### 【B グループ】

- ・議会報告会を開催しているが、参加者の減少と固定化が問題。新たな市民参加のため情報の共有と魅力ある発信が必要
- ・市民と同じ方向を向いて共有する場所が必要。また、啓発も重要

#### 【C グループ】

- ・市民生活が良くなるための政策提言を心がけて欲しい
- ・ペーパーレスをやめて欲しい

#### 【D グループ】

- ・全国に名が売れるくらいの政策提言をして欲しい
- ・議案全てに質問するくらいの問題意識を持って欲しい
- ・市民の側にもっと出向いて意見を聞いて欲しい

#### 【E グループ】

- ・市民の距離を縮めるためには町内会別など小さい範囲での意見交換をして欲しい
- ・小さな課題でも話し合っって欲しい

テーマ② 知立市議会と市民の関係がより良くなるために市民に言いたいこと

【A グループ】

- ・ 議会に興味をもってもらいたい（若い人も少しでも）
- ・ 議員定数を減らす、減らしていくことは、暮らしが良くなるのか考えて欲しい

【B グループ】

- ・ 特に若い人たちの政治参加、政治への無関心解消

【C グループ】

- ・ 議会を見に来て欲しい

【D グループ】

- ・ 市政にもっと関心を持って欲しい
- ・ 議会にクレームをつけるなら自ら議員になるべき